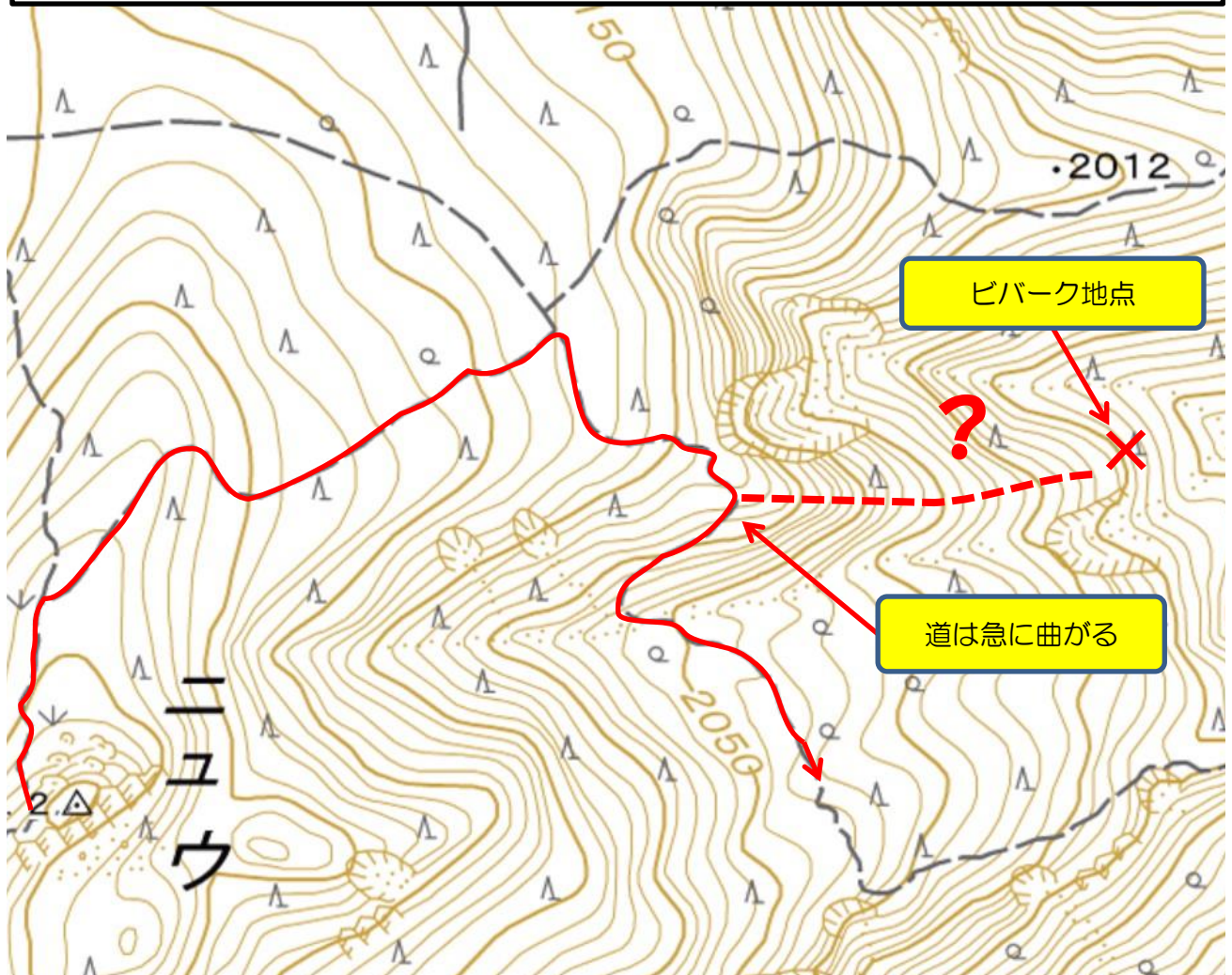


ニュー遭難(2023年10月)

「道に迷った。」と夕方に救助要請。日没のため捜索救助ができず、遭難者はビバーク。翌朝、救助された。



解説

八ヶ岳連峰ニュー周辺で道迷い遭難が発生「道に迷った。」と夕方に救助要請。日没のため捜索救助ができず、遭難者はビバーク。翌朝救助となりました。登山道を歩いているつもりが、いつの間にか外れていたとのこと。地図や登山アプリを活用し、進むべきルートを確認しましょう。(長野県警察山岳遭難救助隊X参照)

夕方の救助要請なので、ニュー登山後の道迷いだろうか？下山時の尾根道を正ルートは急に曲がるが、そのまま尾根を下ってしまうパターン。以前2021年にYAMAPで「日本一道迷いしやすい場所」として『滋賀・三重の県境 標高約800m地点の沢谷ノ頭～登山口のルート』が紹介されていたが、今回の事例は同じパターン。尾根を下る途中で「あれっ？おかしい？」と思うのだが、道迷いの心理は行動を止めることができない。夕方になり、焦りもあったのだろう。電波が届いたのが幸いし、翌日救助されているが、「あれっ？おかしい？」と思った後の行動がとても大切であることを呼びかけていきたい。また、地図アプリはとても有効なので地図アプリの使用も呼びかけていきたい。(地図アプリに頼りすぎるのは地図を見て考えることをしなくなるのでよくないと思っている。『考えること』が遭難を防止すると思う)